北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	日本語作文Ⅱ	科目コード	1323	単位数	2
担当者名	複数担当教員（ＩＡＹ日）	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標		実務経験	無
ナンバリング		※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

「国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につける」という本学の学位授与方針に立脚し、様々なトピックに触れることで多様な価値観を理解する。また「少人数教育とバイリンガル教育の充実」というカリキュラム方針を踏まえ、論理的な文章構成および大学生活で使用する様々な場面に応じた文章表現を身に付ける。作文Ⅰで身につけたアカデミックライティングの基礎知識を生かし、より高度な文章を書くことを目標とする。

到達目標

①大学生活で必要な論理的で説得力のある内容、構成の文章が書ける。
②作文Ⅰで習得したアカデミックライティングの基礎知識を生かし、より深い内容で説得力のある文章が書ける。
③JLPT　N２の文法を積極的に使用し、アカデミックライティングにふさわしい硬い表現で文章が書ける。

授業内容

1週目 シラバス、評価説明、
２課　日本・日本人　Ｓｔｅｐ２：「日本らしさの発見」書く前に、考えよう、ここに注目　Ｎ２文法（５３－５６）
2週目 ２課　日本・日本人　Step2：「日本らしさの発見」表現練習、書いてみよう、Ｎ２文法（５７－６０）
3週目 ＦＢ、３課　テクノロジー　Step２：「インターネットの功罪」①書く前に、考えよう、ここに注目　Ｎ２文法（６１－６４）
4週目 ３課　テクノロジー　Step２：「インターネットの功罪」②表現練習、書いてみよう、Ｎ２文法（６５－６８）
5週目 FB、４課　教育　　Step２：「宿題の必要性」①書く前に、考えよう、ここに注目　Ｎ２文法（６９－７２）
6週目 ４課　教育　　Step２：「宿題の必要性」②表現練習、書いてみよう、Ｎ２文法（７３－７６）
7週目 FB、５課　ニュース　　Step２：「新聞記事の紹介」　①書く前に、考えよう、ここに注目　Ｎ２文法（７７－８０）
8週目 ５課　ニュース　　Step２：「新聞記事の紹介」②表現練習、書いてみよう、Ｎ２文法（８１－８４）
9週目 FB、６課　働き方　Step2：「女性と労働」①書く前に、考えよう、ここに注目　Ｎ２文法（８５－８８）
10週目 ６課　働き方　Step2：「女性と労働」②表現練習、書いてみよう、Ｎ２文法（８９－９２）
11週目 FB、　２課　日本・日本人　Step3「日本論・日本人論」①書く前に、Ｎ２文法（９３－９８）
12週目 ２課　日本・日本人　Step3「日本論・日本人論」②書いてみよう、Ｎ２文法（９９－１０４）
13週目 FB、３課　　テクノロジー　　Ｓｔｅｐ３：「AIの光と影」　①書く前に、Ｎ２文法（１０１－１０４）
14週目 ３課　　テクノロジー　　Ｓｔｅｐ３：「AIの光と影」　②ステップアップ、書いてみよう、Ｎ２文法（１０５－１０８）
15週目 後期テスト（作文、教科書の復習問題、Ｎ２文法問題）、表現と文法の復習
16週目 やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①指示された内容を予習する（20分）
②授業で書き終わらなかった場合の作文の続きを書く（20分）
③添削された作文フィードバックを見て復習する（15分）
④教科書の間違えた問題や文を見直し、解き直す（15分）

成績評価の方法・基準

期末試験（30%）、授業中の作文（35%）、授業態度（35%）の比率で算出する。

履修上の留意点

・予習・復習をしっかりとしてくること。
・他学生の学習の妨げになるような行為はしない。
・指示された時以外のスマートフォンの使用を禁止する。
・授業の進度により内容を変更する場合がある。

課題に対するフィードバックの方法

作文は添削をし、個別にフィードバックを行う。

テキスト

伊集院郁子　高野愛子著『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』（アスク出版）定価1,760円（本体1,600円＋税）
五十嵐　香子他著『文法Buddy JLPT日本語能力試験N2 ―文法からひろげる日本語トレーニングー』（ジャパンタイムズ）定価2,090円（本体1,900円＋税）
上記２冊（作文Ⅰで使用したものと同じ）を購入のこと。

参考書

必要に応じて紹介する。

更新日付

2026/02/25 06:10